

集合管遮音カバー BS

遮音性能試験報告書

2020年 1月 31日

因幡電機産業株式会社
開発統括部

1. 遮音性能試験

1) 「集合管上部遮音カバー BS-S」、「集合管枝管遮音カバーBS-E」

(1) 試験方法

遮音タワーの排水集合管に遮音処理をおこない、騒音計で等価騒音レベル L_{Aeq} (2 秒間) を指定オクターブバンドごとに測定する。

①測定条件

測定器：普通騒音計 NL-42 (リオン株式会社)

評価流量：6L/sec

測定オクターブバンド：63Hz、125Hz、250Hz、500Hz、1000Hz、2000Hz、4000Hz

②試験体図

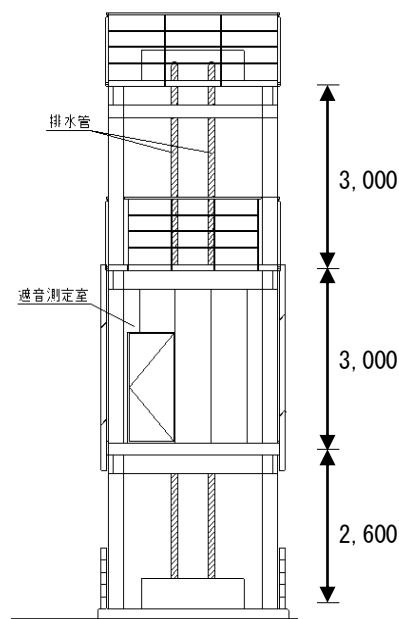


図 1. 排水タワー

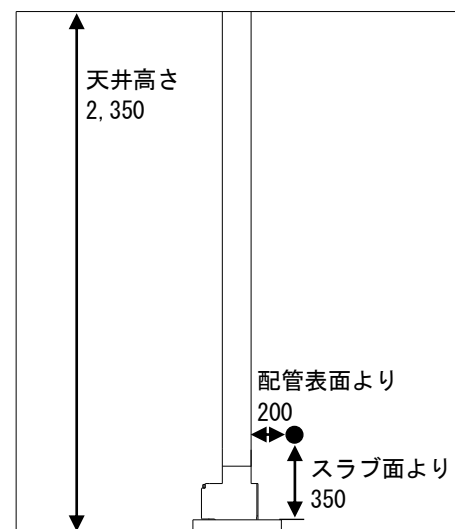


図 2. 測定室内及び騒音測定位置

(2) 試験結果

試験結果の一覧およびグラフを下記に示します。

(単位：dB)

試験体 No.	遮音処理仕様	*1 NC 値	*2 A 特性	オクターブ帯域中心周波数 (Hz)						
				63	125	250	500	1000	2000	4000
①	上部遮音カバー + 枝管遮音カバー	38	41.6	21.0	23.6	27.1	35.5	38.7	34.5	31.3
②	未処理	47	49.7	23.8	26.0	25.8	34.6	41.9	43.6	45.8
③	従来工法 *3	38	41.8	23.2	24.2	25.3	33.7	37.2	33.8	36.4

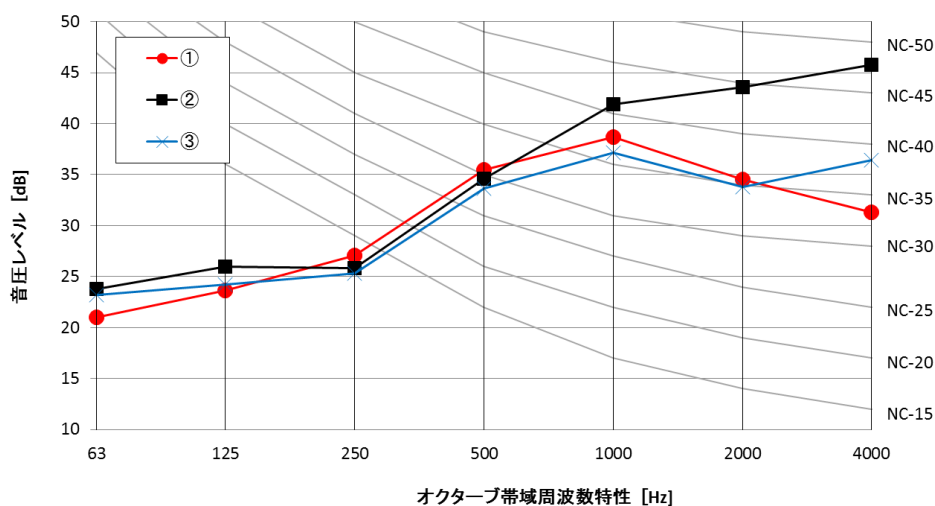
※1 NC 値 (500Hz 以上)：騒音の大きさを数値で表したもの

※2 A 特性 (500Hz 以上)：騒音計で物理的に測定した各周波数の音圧の和

※3 グラスウール 24K・25t mm + 遮音シート 3.8kg/m²

(注意)このデータは、前述の条件下での試験についての測定値であり、性能を保証するものではありません。

<遮音性能グラフ>



(注意) このデータは、前述の条件下での試験についての測定値であり、性能を保証するものではありません。

集合管上部遮音カバー・枝管遮音カバーは、従来工法(グラスウール+遮音シート処理)と同等の遮音性能が確認出来ました。

2) 「集合管下部遮音カバー BS-K」

(1) 試験方法

遮音タワーの排水集合管に下記①～③の処理を順次行い、騒音計で等価騒音レベル L_{Aeq} (2秒間) を指定オクターブバンドごとに測定する。

① 測定条件

測定器：普通騒音計 NL-42 (リオン株式会社)

評価流量：水道水 6L/sec

測定オクターブバンド：63Hz、125Hz、250Hz、500Hz、1000Hz、2000kHz、4000kHz

②試験体図

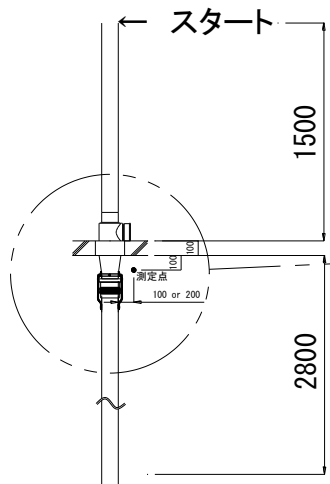


図 3. 排水経路図

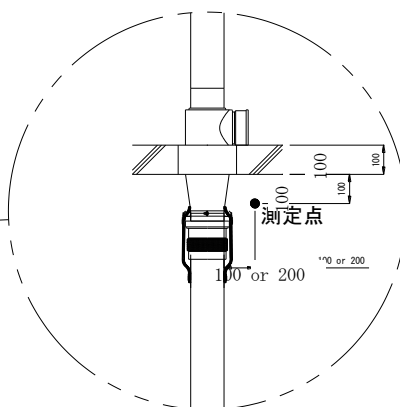


図 4. 測定室内及び騒音測定位

(2) 試験結果

試験結果の一覧およびグラフを下記に示します。

(単位：d B)

試験体	遮音処理仕様	※1 NC 値	※2 A特性	中心周波数(Hz)						
				63	125	250	500	1000	2000	4000
①	従来工法 ※3	50	54.1	43.9	45.1	46.8	48.0	50.5	48.5	41.3
②	未処理	54	57.3	44.7	45.5	47.1	50.6	52.5	49.3	51.6
③	下部遮音カバー	47	51.9	45.3	45.6	46.0	47.4	47.5	46.0	40.1

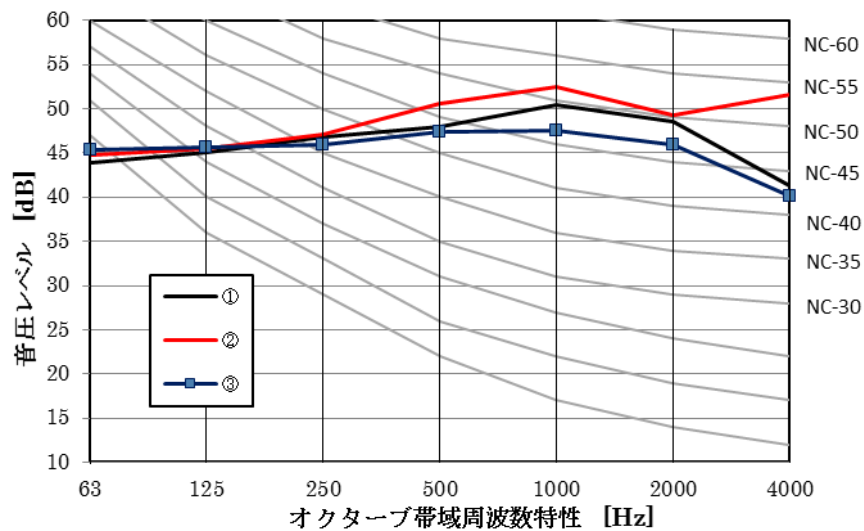
※1 NC 値 (500Hz 以上)：騒音の大きさを数値で表したもの

※2 AP 値 (500Hz 以上)：騒音計で物理的に測定した各周波数の音圧の和

※3 グラスウール 24K・25t mm＋遮音シート 3.8kg/m²

(注意)このデータは、前述の条件下での試験についての測定値であり、性能を保証するものではありません。

<遮音性能グラフ>



(注意)このデータは、前述の条件下での試験についての測定値であり、性能を保証するものではありません。

集管下部遮音カバーは、従来工法(グラスウール＋遮音シート処理)と同等の遮音性能が確認出来ました。